

	<h1>宮ノ陣</h1>	校訓	自主 友愛 真理	志をもって意欲的に学び自律心と 感謝の心をもつたくましい生徒 “ 凡事徹底 ”・“ 共感、共汗、共歓 ”
---	--------------	----	----------------	--

《 文責 》 校長 荒木 修

「全国学力・学習状況調査」の結果について

先日、久留米市教育委員会から、3年生を対象として4月19日(火)に実施された「全国学力・学習状況調査」における市立中学校全体の結果が届きました。



この調査は、「国語」「数学」「理科」の3教科に関する調査と、生活習慣や学習習慣等に関する質問紙調査の2つの内容から実施されました。

このうち「教科に関する調査」については、ペーパーテストにより測定できる学力の一側面を調査したものであって、本校生徒の学力のすべてを表すものではないことにご留意ください。

この学校だよりでは、本校生徒(現3年生)に関する調査結果の概要をお知らせいたします。

◇ 教科に関する調査 ※ 各教科の結果を、それぞれ下のような観点、及び、内容に対する正答率から判断されることについてお知らせします。

- 観点：3教科とも「知識・技能」「思考・判断・表現」の2観点
- 国語の学習指導要領の内容：
 - 「言葉の特徴や使い方に関する事項」「情報の扱い方に関する事項」「我が国の言語文化に関する事項」「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」
- 数学の学習指導要領の内容：
 - 「数と式」「図形」「関数」「データの活用」
- 理科の学習指導要領の内容：
 - 「『エネルギー』を柱とする領域」「『粒子』を柱とする領域」「『生命』を柱とする領域」「『地球』を柱とする領域」

- 国語：各観点・内容にわたって、おおむね満足できる状況にありますが、「事象や行為、心情を表す語句についての理解」や「文脈に即して漢字を正しく書く」力を高めていくと、更に学力が向上すると思われます。

今後は、自らの考えを記述したり話し合ったりする場面や、他者との協働を通じて自らの考えを相対化する場面を単元や題材などの内容のまとまりの中で設けるなどの活動の充実を図っていきます。



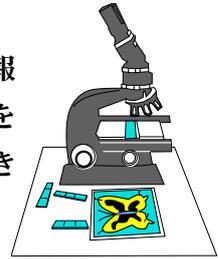
- 数学：各観点・内容にわたって、おおむね満足できる状況にありますが、「目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明する」ことや「結論が成り立つための前提を考え、新たな事柄を見だし説明する」ことなど、説明を求められた問題に対して課題が見られました。

今後は、数量関係について、表や式、グラフを相互に関連付けて考える活動や、資料の傾向を読み取って説明する活動の充実を図っていきます。



○ 理科：各観点・内容にわたって、おおむね満足できる状況にありますが、「生物の外部形態を比較して共通点と相違点を捉え、分類の観点や基準を基に分析して解釈する」問題や「実験の結果を分析して解釈し、課題に正対した考察を行う」問題など、分析して解釈する問題に対して課題が見られました。

今後は、他のグループの観察・実験の結果や考察など、多くの情報や考えを自分の考察の中に活かすことができるようにしたり、根拠を明らかにして説明できるよう工夫したりする活動の工夫を図っていきます。



◇ 生活習慣や学習習慣等に関する質問紙調査

全国のデータと比較すると、本校の生徒は「自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしている」「自分にはよいところがある」と回答した生徒の割合がやや多い状況にある一方で、4月の段階では「将来の夢や目標がはっきりと定まっていない」と回答した生徒が多いようです。学校でもキャリア教育の充実に努めて参りますが、ご家庭でのご指導についてもよろしくお願いいたします。

